

教育メディア学会 年次大会発表
(2013年10月13日)和歌山大学

「不適切な投稿事件」から考える 情報発信の授業

The lesson information dissemination which considers from improper pictures posted

聖母被昇天学院中学校高等学校
岡本 弘之
京都教育大学
浅井 和行

不適切な画像投稿事件の多発①

情報発信をめぐるニュース (2013年7月)

- ローソン『アイスクリームケースに男性が入りネット上で炎上した店舗』をFC契約解除
- 「バイトしてる...」にサッカー選手Kが来た！」と防犯カメラの画像をtwitterに掲載
- 19歳看護学生、患者の臓器写真をツイッターに投稿→炎上
- 他にある？



授業時の提示スライドより

1. 研究の背景及び目的

研究の背景

- 問題意識
簡単に情報発信できる環境が普及している一方、SNSや情報発信の責任についての知識が不足しているのでは？
- 情報発信者としてのメディアリテラシー育成の必要性
「メディアリテラシー」とは「メディアを批判的に読む解く力」だけでなく「メディアによって創造的に表現し、メディアを効果的に活用する能力」 浅井(2011)

研究の目的

- SNSや情報発信の責任についての知識を育てる授業の開発
 - 「不適切な投稿」を起こさないという対処療法～情報発信についてのメディアリテラシーを育成
 - 高校情報科の授業案を開発・実践し、効果を検証する
 - 授業案・教材をWebに公開し、共有できるようにする

2. 研究の方法

- 勤務校の高校2年生の情報科(情報C)の授業において、企画した授業を実践
- 授業時の生徒の記録から考察を行う
 - 発表資料
 - ワークシート
 - 振り返りコメント
 - 意見交換の観察

3. 授業の実践

3.1. 授業のねらい

- 不適切な画像投稿を起こさず、賢く情報発信ができる生徒を育てるために・・・
1. 不適切な投稿の背景を考えさせる
 2. 事例から情報発信の責任を考えさせる
 3. 個人情報を守る情報発信を考える
 4. 自分の情報発信を考える

3.2. 授業の展開

(1)「不適切な投稿」の背景を考える

- 「不適切な投稿」による事件を紹介
(冒頭スライド)
- これらが起こる原因・背景を話し合わせる
 - ① 4人グループを編成
 - ② 付箋を使って1人3つ以上の意見を書かせる
 - ③ 付箋をもとに話し合い
KJ法で整理させる
 - ④ 1分程度で発表

実際の発表時の風景

3.2. 授業の展開

(2) 事例から情報発信の責任を考える

投稿した後の責任は重い・・・

- | | |
|---|--|
| コンビニの冷蔵庫事件では・・・ <ul style="list-style-type: none"> • 店は閉店 • 店に抗議の電話殺到 • コンビニ本部から損害賠償？ • 購入した客には返金 • 投稿者の個人名はネットにさらされる・・・ | ステーキハウスの事件では <ul style="list-style-type: none"> • 投稿者はアルバイト学生 • 店に抗議の電話殺到 • 店は閉店 • 投稿者に損害賠償を請求予定 • 投稿者の個人情報はネットにさらされる |
|---|--|

他のケースでも・・・
退学処分、損害賠償、内定取り消し → 代償は大きい！

責任＝法的責任(刑罰・損害賠償)＋社会的責任(学校・企業内・実名公表)

3.2. 授業の展開

(3) 個人情報を守る情報発信を考える

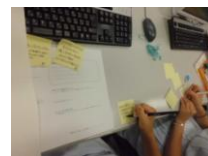
① 個人の投稿がネット上でさらされる仕組み

<h6>① 発見</h6> <ul style="list-style-type: none"> • ネット上の問題ある投稿を集める人たち・サイト・・・ - (例) バカ発見機 - (例) バカッター • 発見とともに保存＝「魚拓」をとる・・・ 	<h6>② 特定</h6> <ul style="list-style-type: none"> • ネット上で投稿者を特定する人たち・サイト・・・ - (例) 特定班
--	--

ネット上で不適切な投稿を見つけ、「特定班」とよばれる投稿者の個人情報を探し掲示板に公開する人たちがあることを説明

② 「特定班」とよばれる一般の人がどのようにして個人情報を特定していくのか話し合わせる

- ① 4人グループで話し合い
- ② 個人で3つ以上方法を考え付箋に書く
- ③ 話し合いながら、KJ法で整理する
- ④ 1分程度で全体に発表する



- ・「特定班」の問題点も指摘した

もちろん「特定班」も問題あり！

- ・いくら問題ある行動をした投稿者であったとしても、個人情報を見られるネット上にさらしてはダメ！！

<警視庁Webサイトより 個人情報を書き込まれたら…>

- ・自分のメールアドレスや電話番号などの個人情報が載せられたような場合は、当該掲示板の管理者、もしくはサーバ管理者に削除依頼をする。
- ・プロバイダ又は掲示板管理者に対し、これら該当中傷や個人情報の掲示を削除するよう求める仮処分申請を裁判所に申し立てる方法も考える。
- ・プロバイダ責任法に基づき、侵害情報の送信を防止する措置を要請したり、侵害情報の発信者を特定する情報を開示するよう求める方法もあります。
- ・名誉毀損や業務妨害等の犯罪に該当するような場合は、お住まいの地域を管轄している警察署で相談する。

<http://www.keitai-ho.mext.go.jp/keitai-ho/keitai-ho/03.htm>

授業時の提示スライドより

- ・ネットの特性(実は匿名ではないこと)・自分の情報がどうなっているかの実習もさせた

ネットは匿名のように見えて…

- ・実習
 - 「IP検索 自分」で検索
 - 自分のグローバルIPアドレス(ネット上の住所)を確認
- ・この瞬間、このIPを使っているのは1人(1機)しかない
 - 捜査機関は簡単に個人を特定可能



実習してみよう(作業③)

- ・自分の名前をYahooで検索してみよう！
- 検索結果をワークシートに記入しよう

- ・Facebookはデフォルトでは検索可能
- ・各賞の受賞・取材など…
- ・人によっては画像も出るとかも…

授業時の提示スライドより

3.2.授業の展開

(4) 自分の情報発信を考える

- ・ここまでの注意事項をふまえた上で、SNSやブログをどのように利用するか？積極的な利用について考えさせた。

考えてみよう(作業④)

- ・どんな情報をSNSやブログに載せればいいのか？ 具体例を考えよう！(賢く情報発信するために…)



授業時の提示スライドより

4. 授業の結果

4.1.「不適切な投稿事件」の背景は？ 話し合いのまとめ①

そもそもモラルの問題

- ・ **目立ちたい**
悪乗り、かっこいいと思っている、有名になりたい、自慢したい、ニュースに出たい
- ・ **無自覚・軽い気持ち**
笑ってもらえると思っている、悪いことと思っていない、大事になるとは思っていない
- ・ **好奇心**
ふざけてやってみている、おもしろいから、暇つぶし

4.1.「不適切な投稿事件」の背景は？ 話し合いのまとめ①

情報社会ゆえの問題

- ・ **SNSだから**
自分のサイトを見てほしい、フォロワーが見ているからリツイート・シェア・フォロワーを増やしたい、コメントを期待して
- ・ **ネットの特性を知らない**
広がるとは思っていなかった、友人だけのつもりであった
- ・ **ネット環境が身近にある**
どこでも撮影投稿できる環境がある
- ・ **ネット環境に慣れている**
投稿することに抵抗が少ない、投稿慣れして感覚がマヒ

4.1.「不適切な投稿事件」の背景は？ 話し合いの効果

- 話し合いで背景・原因を考えさせる
モラルの低さ・考えの甘さ
身近にあるネット環境
SNS・ネットへの無知識
- ↓
- 必要な対応がわかる
情報発信には慎重さが必要
SNSでも投稿すれば拡散する可能性がある

4.2.個人情報はどう特定されるか？ 話し合いのまとめより①

- 位置情報から
ツイート・投稿時
- 投稿された写真から
制服・背景から
- プロフィール
あだ名、ブログのUR・ニックネーム・IDから
住んでいる地域
- 過去の投稿を遡る
つぶやき、会話から

4.2.個人情報はどう特定されるか？ 話し合いのまとめより②

- 他のサイトも調べる
同じIDで他のSNSも調べる
- フォロワー・友達から
交友関係から学校、年齢、地域の特定
友達との会話でつい名前があがることもある
1人が学校名を出していたら特定できる
他の友達へのコメントの内容から情報を得る

4.2.個人情報はどう特定されるか？ 話し合いの効果

- 個人情報が特定される方法を知る
位置情報、写真から
過去のやりとりから
友人・フォロワーのつながりから
- ↓
- 特定されにくい情報発信がわかる
投稿する際に位置情報をつけない
場所・学校・名前などを書きこまない
友人のためにも個人情報を書かない

4.3.どのような情報発信を行えばいいか？ 生徒が考える情報発信のメリット

情報発信の楽しさ・長所

- 近くにいらない人とも交流できる
- 懐かしい友人、外国の友人……
- 知っている人の近況がわかる
- 「今」がわかる
- 口コミの情報が伝わる
- 近所、友人、学校の情報……
- 共通の趣味・価値観の共有ができる
- 「いいね」で肯定的な関係、評価してもらえた

1学期のK2話し合い結果発表より

5. まとめ

生徒の授業の振り返りより

- 情報発信、写真をのせるリスクを知れた
- 軽く投稿せず、考えて投稿するべきと感じた
→情報発信の責任を理解できた
- 待ち合わせをつぶやいていたので気をつけたい
- 個人情報を出しすぎることは友達にも迷惑をかける
→個人情報を守る情報発信について知識を得た
- 知りたい情報を発信し、ネットをいいものに変えていきたい
→情報発信をうまく活用する方法を考えた

実践のまとめ

- 「不適切な投稿事件」を取り上げた授業で

今の情報社会の状況を考えることができた
情報発信の責任・リスクについて考えた
情報発信で気をつけることの知識を得た
自分がどう情報発信したらいいか考えた



情報発信について実践的に学ぶことができた